

別所温泉の源泉を管理する

# 別所温泉財産区



長野県上田市別所温泉

URL:<http://www.besshoonsen-zaisanku.com/>

Mail:[gyyym696@ybb.ne.jp](mailto:gyyym696@ybb.ne.jp)

TEL&FAX:0268-38-5750





# 別所温泉源泉のあらまし



大 湯

長かった藩政時代が終わり明治時代になると共に温泉の所有権が国に移管され、大正初期までは村(当時は別所村)が国へ借料を払い実際の管理運営を温泉事務所や温泉会社などを造り運営されていました。

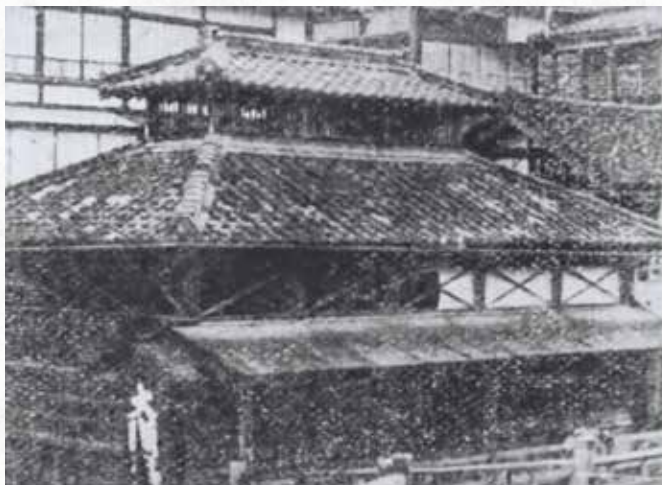
大正4年(1915)別所村一丸となって温泉の払い下げを決議し、時の国の出先機関であった郡役所に要望書を提出。

大正5年(1916)これが許されて当時の金で5,497円という高額な金で買い受け、名実ともに別所村有の温泉となりました。

当時別所村の1年間の総予算が5,567円であったのを見ましても、時の村の当事者がいかに大英断を持って処したか知ることができます。



石 湯



大師湯

別所温泉は、昔から自然に湧き出していた温泉です。

北向観音をはじめ神社仏閣のある別所温泉は多くの僧侶などが訪れたこともあり、信仰の厚い土地でした。

また庶民の療養と安息の場として栄え、各所から湧き出す源泉を共同浴場として利用し、これを中心に旅館街が活気を呈していたことが古文書等により知ることができます。

その後、昭和31年(1956)に塩田町となり財産区を設定、別所温泉の管理運営は財産区議会に移り、昭和45年(1970)上田市に合併し「別所温泉財産区」となりました。



# 別所温泉源泉の移り変わり

## 第1号源泉の掘削

昭和20年(1945)から30年頃の別所温泉の状態は自然湧出の泉温・湧出量共に経年的に低下の傾向が顕著となり、当時の日本温泉開発研究会委員、安斉徹博士に調査を依頼しました。

その結果ボーリングによる開発が有望との結論を得、昭和30年(1955)時の村長、村議会の決断により同年1月、第1号泉のボーリングを開始し同年6月に完成、掘削深度220m、泉温41℃、湧出量67ℓ/分という結果を得ましたが、期待したほどの成果ではありませんでした。

## 第2号源泉の掘削

引き続き第2号泉の掘削を7月に開始、同年11月に完成し、掘削深度148m、泉温45.7℃、湧出量360 ℓ/分の成果を得ました。この結果第1、第2源泉に從來からの自然湧出量を加え相当多量の湯量が得られましたが、反面各所の自然湧出量が極端に減少あるいは停止しました。

## 第3号源泉の掘削



第3号源泉

この時点での別所温泉の総湯量1,000 ℓ/分を共同浴場3ヶ所、旅館18軒へ供給しその後10年ほどは大きな変化もなく推移しましたが、観光客の増加から熱カロリー不足になり、加温への経費の増大等各種条件が重なり遂に第3号泉の掘削を決議しました。

昭和41年(1966)9月にボーリングを開始し同年12月末に完成、掘削深度180m、泉温52℃、湧出量340 ℓ/分の噴出、さらにボアホールポンプによる揚湯を行ったところ湧出量380 ℓ/分となり第2号泉と合わせて別所温泉の主力源泉となりました。

## 第4号源泉の掘削



第4号源泉

昭和49年(1966)5月、中央温泉研究所に当温泉の調査指導を依頼。

その結果現在の第3号泉の近くに予備として新しい源泉を確保すべきであるとの指導を受け、昭和51年(1976)時の財産区議会は掘削を決議し補足地質調査・物理探査を実施し掘削地点を選定、同年6月にボーリングを開始しました。深度500mを目標としましたが350.4mにおいて泉温52.5℃、湧出量1,300 ℓ/分という多量の噴出を見たため掘削を停止し第4号泉の完成としました。

こうして第4号泉は大成功を見たのですが反面第1号、第2号源泉、各共同浴場、旅館、個人の持ち湯の全てが自噴していたものが停止してしまいました。

現在は第4号源泉の揚湯は900 ℓ/分に第3号源泉から100 ℓ/分、大湯源泉から60 ℓ/分を加え約1,060 ℓ/分です。

源泉名	掘削日	掘削深度	泉 温	湧出量	備 考
第 1 号 源 泉	昭和30年6月	220.0m	41.0℃	67ℓ/分	昭和54年に停止
第 2 号 源 泉	昭和30年11月	148.0m	45.7℃	360 ℓ/分	昭和54年に停止
第 3 号 源 泉	昭和41年12月	180.0m	52.0℃	380 ℓ/分	観光客の増加、熱カロリー不足からくる加熱への経費増大のため掘削
第 4 号 源 泉	昭和51年6月	350.4m	52.5℃	1,300 ℓ/分	予備としての役割を兼ねる (補足地質調査・物理探査実施)

# 源泉の管理

財産区管理者	上田市長
温泉所有者	別所温泉財産区
源泉所在地	上田市別所温泉1698番地
議会等の制度	財産区議会議員10名
財源の内容	共同浴場の使用料、旅館等からの温泉貸与料
源泉総揚湯量	約1,050～1,100 ℓ/分
供給先	・共同浴場      3ヶ所 160 ℓ/分 ・旅館      16軒 637 ℓ/分      ・洗濯場      14ヶ所 60 ℓ/分 ・福祉施設      2ヶ所83 ℓ/分      ・その他(足湯など) 32 ℓ/分

源泉	第3号源泉	第4号源泉	大湯源泉
湯量(日量)	約100 ℓ/分	約900 ℓ/分	約60 ℓ/分
源泉深度	180m(ポンプ)	350m(掘削自噴)	4.0m(自然湧出)
温度	44.6℃	50.6℃	38℃
泉質	単純硫黄温泉（アルカリ性低張性高温泉）		
効能	神経痛・関節痛・うちみなどに効果があるほか、肌を滑らかにする		

共同浴場	石湯	大師湯	大湯
設備の概要	真田幸村隠しの湯	慈覚大師ゆかりの湯	木曾義仲ゆかりの葵の湯
	平成10年12月22日改築	昭和59年8月1日改築	平成2年11月16日改築
休日*	第2・4火曜日	第1・3木曜日	第1・3水曜日
営業時間	午前6時～午後10時		
共同浴場入場数(年間)	約18万人(平成27年度)		

\* 祝祭日などの状況により変わることがあります。



# 主な設備

送湯管距離	延3,200m
貯水タンク	共同浴場 3ヶ所 60m <sup>3</sup>
揚湯施設	3号源泉 ボアホールポンプモーター 出力3.7kw 4号源泉(自噴) 4号源泉非常用ポンプ SFM-K渦巻きポンプモーター 出力5.5kw
送湯施設	4号源泉 MTタービンポンプモーター 出力11.0kw
停電用発電機	AP-80A-6 容量64kw 80kva 210v/220A

4号源泉



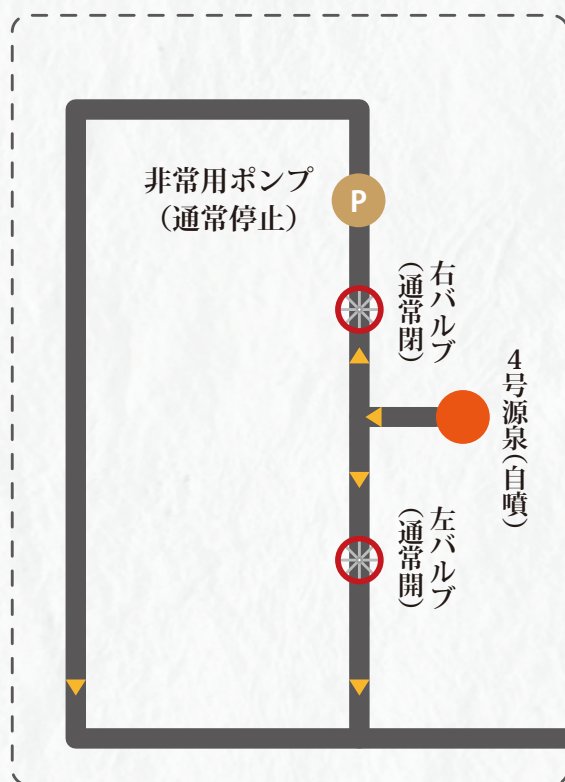
3号源泉ボアホールポンプ



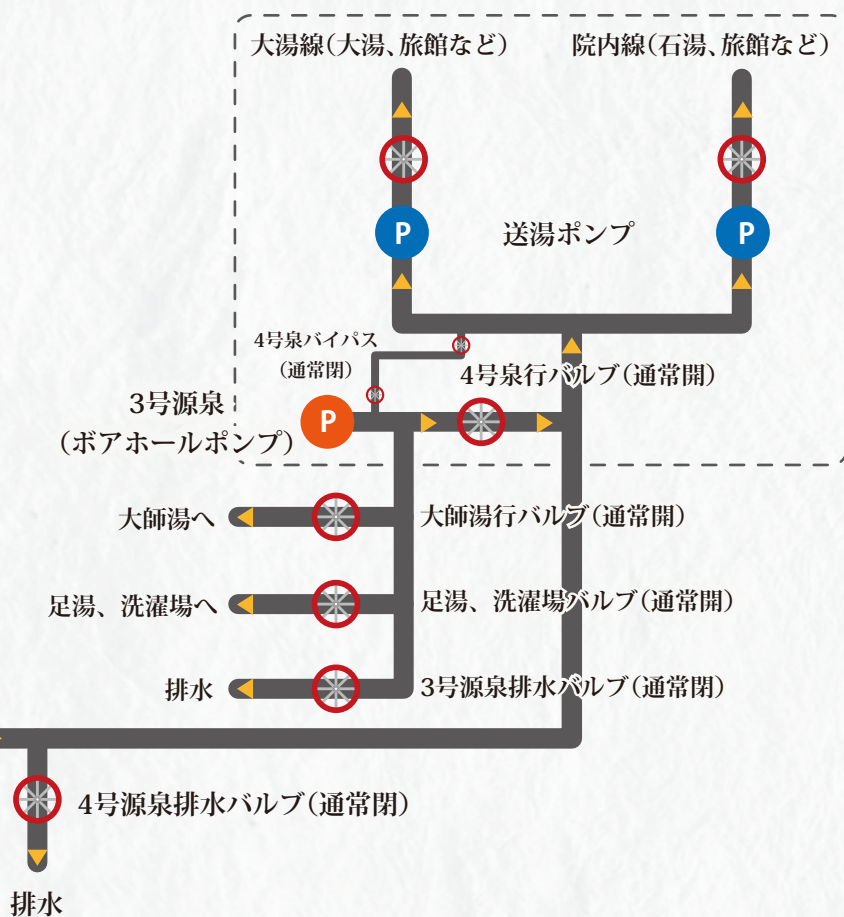
送湯ポンプ



4号源泉建屋



3号源泉建屋





## 別所温泉財産区が管理運営する3ヶ所の共同浴場



石 湯

戦国時代、真田一族が英気を養い傷を癒したことで知られ、真田幸村公の隠し湯と呼ばれています。  
平成10年12月に改築された日本瓦の建物は「千鳥破風入母屋造」の屋根で、浴槽には自然石が活かされています。  
(池波正太郎著「真田太平記」より)



大師湯(だいしゅ)

平安時代、比叡山延暦寺の座主円仁慈覚大師が北向観音堂建立のため来錫(らいしゃく)の折好んで入浴したとの言い伝えがあり、大師湯と名付けられました。



大 湯

木曾義仲は正月末から葵の前を連れて別所の温泉へ療養に来ていました。  
彼女を療養させるために義仲が急に命じて造らせたとの言い伝えがあります。  
(吉川英治著「新平家物語」巻十三より)

## 主な文化財



### 1 安楽寺(曹洞宗)

安楽寺は禅宗としては、鎌倉の建長寺などと並んで日本では最も古い臨済禅宗寺院の一つです。  
天正十六年(1588)ころ、高山順京が曹洞宗に改めました。



### 2 国宝 八角三重塔(安楽寺)

木造八角三重塔は、木造の八角塔としては日本で一つしかないという貴重な建築で、昭和27年3月29日、文化財保護法の規定により長野県では一番早く国宝に指定されました。



### 3 北向観音

厄除観音として知られる「北向観音堂」は、平安時代初期の天長2年(825)比叡山延暦寺座主慈覚大師円仁により開創された霊場です。



### 4 常楽寺(天台宗)

常楽寺は北向観音の本坊であり、ご本尊は「妙觀察智弥陀如来」。  
常楽寺は北向観音堂が建立された天長二年(825年)、三楽寺の一つとして建立されました。



### 5 重文石像多宝塔(常楽寺)

「石造多宝塔」は、北向観世音様が出現した所で、高さ2m85cmの安山岩で出来ており、国の重要文化財に指定されています。



### 6 別所神社

社名は、古くから「熊野社」といわれていました。  
社伝によると、紀州(和歌山県)の熊野本宮大社から分祀されたとされています。





## 交通のご案内



### ■お車で

#### ・東京から

関越道 → (藤岡 JCT) → 上信越道 → 上田菅平 IC → 上田バイパス R-18 → 別所温泉(約2時間30分)

#### ・名古屋から

東名 → (小牧 JCT) → 中央道 → (岡谷 JCT) → 長野道 → 麻績 IC → R-143 → 別所温泉(約3時間30分)

#### ・富山から

北陸・日本海東北道 → (上越 JCT) → 上信越道 → 上田菅平 IC → 上田バイパス R-18 → 別所温泉(約3時間20分)

### ■電車で

#### ・東京から

北陸新幹線 → 上田駅 → 上田電鉄別所線 → 別所温泉(約1時間40分)

#### ・名古屋から

中央本線 → 篠ノ井 → しなの鉄道 → 上田駅 → 上田電鉄別所線 → 別所温泉(約3時間30分)

#### ・富山から

北陸新幹線 → 上田駅 → 上田電鉄別所線 → 別所温泉(約2時間20分)

## 上田市別所温泉財産区

〒386-1431 長野県上田市別所温泉 1700-1

TEL&FAX:0268-38-5750